

厚労省が注意喚起



県央かわら版 第4号

ノロウイルス流行の兆し

ノロウイルスによるとみられる感染性胃腸炎が流行の兆しをみせている。過去10年で最も流行した2006年に次ぐペースで患者が増加。特に関西と九州で多い傾向にある。例年は12月中にピークとなることから、厚生労働省は11月27日、感染防止策をまとめた都道府県などへ注意喚起した。

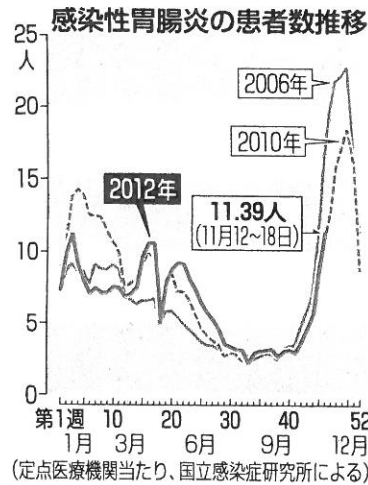


新潟県地域振興局別報告数(定点当※)

(H24.11.12~11.18)

新潟市	6.12
新発田	9.00
新津	0.50
三条	3.67
長岡	6.75
魚沼	0.67
南魚沼	1.50
十日町	10.50
柏崎	0.67
糸魚川	5.00
村上	-
佐渡	0.50
上越	7.17

(国が示す警報基準は20)
※報告対象医療機関あたりの感染性胃腸炎(ノロウイルス以外も含む)の患者数



新潟県 日 報

2012年(平成24年)11月28日

ノロウイルス 感染防止のポイント

- トイレに行った後、帰宅後、料理の盛り付け前などの手洗いを励行。指先から肘までをせっけんで丁寧に洗う
- タオルの共用はできるだけ避ける
- 調理器具を塩素液または熱湯で消毒する。熱湯消毒は85度で1分間以上が有効
- 患者の嘔吐物やおむつは使い捨ての手袋やマスクを着けて処理し、ビニール袋に密閉して捨てる

ノロウイルスの感染経路

感染経路は主に①、②の2つです。

- ① 感染者のおう吐等によりウイルスに汚染された環境(ドアノブ、トイレ、手洗いの蛇口等)を介する経路
- ② ウイルスに汚染された食品を食べることにより感染する経路



ノロウイルスは冬に多く、大分19、42人など、発する食中毒の原因として知られる。国立感染症研究所によると、全国約3千の小児科定常医療機関から報告された平均年齢は、最新データは12月18日分で11.39人だった。12月を前に昨年の最

平成24年11月24日(土)

チューブトレーニング講習会

チューブトレーナー 講師: 栗林 弘一様



日ごろ凝り固まった職員の筋肉を、廃材であるゴムチューブを使用し、誰でも簡単に無理なくできるトレーニングをご指導頂きました。

4~7ワーク 作りにも最適です!!



チューブトレーナー栗林様より「人間には[約60兆の細胞]がある。それを刺激することにより身体だけでなく、脳も活性化し、良いアイデアも閃くのです」とご教授頂きました。

「筋力をプルプルさせると、なぜ笑いが出るのだろう...」と、新たな疑問が職員より出てきました。さっと「こんなにできなかったなんて...」や「昔はこんなこと簡単にできたのに...」と自分への落胆が、大きくおぎやみ笑いがあふれる講習会となりました。

今後も継続して、ミトコンドリアが喜ぶ活動をして参ります。

日本経済新聞

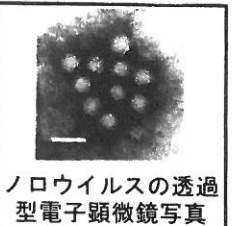
2012年(平成24年)12月7日(金曜日)

厚生労働省の研究グループは、感染性胃腸炎を引き起こすノロウイルスで、今年(2012年)の患者から従来の異なる遺伝子変異が見つかった。研究グループが、免疫を持っていない人が、多量に感染が広がった可能性があるという。専門家はマスクの着用や手洗いの徹底を呼び、たんばく質がわずかに変化したという。

ノロウイルスの遺伝子変異は、研究グループが、今年(2012年)の患者から従来の異なる遺伝子変異が見つかった。研究グループが、免疫を持っていない人が、多量に感染が広がった可能性があるという。専門家はマスクの着用や手洗いの徹底を呼び、たんばく質がわずかに変化したという。

ノロウイルス 遺伝子変異

を食するなどしても感染意が必要だ。冬場は乾燥した便、嘔吐物が舞い上がって、口に入ることも多い。感染しても症状の出ない人、のどにのみ含めて、外出が、気が付かないうち、にウイルスをばらまいてしまふことがあるので注意し、と話している。



今年もイルミネーション点灯式を行いました!



今年も県内外の企業・団体57社より、ご協賛頂きました。来年1月15日まで点灯します。是非、見においでください!!

今後も皆さまからの情報や、ご意見をお待ちしております。

一般社団法人 県央研究所

URL: http://www.kenoh-labo.or.jp